



ハヤブサ

ニュース No.74

2022. 7.15

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒 602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

<学習会>

風力発電所建設問題と宇川

- ・日時：7月25日（月）午後6時30分
- ・会場：ひとまち交流館第3会議室
- ・オンライン報告：
永井友昭さん（京丹後市議）など宇川の方から
- ・主催：米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会

丹後半島の山々に約 50 基もの巨大な風車を設置する風力発電所建設計画が、複数の事業者によって進められようとしています。いずれも住民との間の合意は不十分なものであり、地元の住民の方々は環境や生活への影響を懸念しています。この風力発電所建設計画は米軍 X バンドレーダー基地が建設された京丹後・宇川にも大きく影響し、地元の人々は計画の中止を求めて活発な取り組みを行っています。

計画の概要と問題点、地元の人々の取り組みを永井友昭さん（京丹後市議・「京丹後宇川の風」代表）など宇川在住の方からお聞きします。

* Zoomでの報告です。永井さんは直接来場されません。

* [ご自宅等から視聴希望の方は、事務局・池田 \(ikedatakene@yahoo.co.jp\) まで連絡を](mailto:ikedatakene@yahoo.co.jp)

京丹後訪問のご案内

8月22日（月）

集合は午前8時30分、

鴨川五条大橋西詰のガソリンスタンド前

* 配車の都合で参加予定の方はメールか電話で事前連絡をお願いします（池田 090-7108-5508）



毎月の定期的な京丹後訪問は9年近くに及び、このかん地元の方からは「いつもごくろうさまです」といった反応が増えています。そのような意味では私たちの活動が基地周辺の住民の方々にとっても定着してきたことを感じます。

他方、軍事費倍増と「敵基地攻撃能力」の保有と改憲策動、日米韓の三国合同軍事演習の再開など、東アジア・朝鮮半島の緊張を高め平和への道を阻害する動きが強まっています。それは京丹後の米軍 X バンドレーダー基地のさらなる強化につながるものでもあります。

宇川の基地をめぐるのは、軍人の基地内隊舎への入居に伴う監視カメラの増設、新しくなった発電機が本当に「静音型」なのかの近隣住民の懸念などがあります。

変化する基地の状況を見つつ、あらためて戦争につながる基地はいらないということを訴えていきたいと思っています。

企画のお知らせ

★ 辺野古埋め立て反対共同情宣

7月21日（木）午後6時から 京都タワー前
辺野古埋め立て反対京都実行委員会

◆ 基地のない平和な沖縄・日本・東アジアを！

8・11 京都集会

日時：8月11日（木・休）午後1時から

会場：キャンパスプラザ京都

講演：高良鉄美さん（参議院議員、沖縄の風）

「沖縄復帰50年の現実と

デニー知事再選に託す沖縄の未来」（仮）

主催：京都沖縄連帯集会実行委員会

日米韓合同軍事演習反対！ 7・28 デモに参加しよう

池田高巖

きたる8月前半、ハワイ沖で日米韓の三国合同軍事演習が実施されようとしている。京丹後の米軍 X バンドレーダー基地もその一角を構成する「ミサイル防衛」(MD) 関連の軍事演習であり、日本の戦争政策をまたひとつおし進めるものでもある。

京都連絡会では7月28日(木)に、この日米韓合同軍事演習と日本の戦争政策に反対して、街頭アピールとデモを予定している。

拡大する日米韓安保協力

今年3月の韓国大統領選で当選した尹錫悦(ユン・ソンニョル)氏は、文在寅前政権時代からの南北関係および韓米関係の明確な転換を進めてきた。米国のバイデン政権はそれを利用し、東アジアでの多国間軍事協力、より具体的には日米韓の三か国の軍事協力体制の再建・強化を進めようとしている。

尹錫悦政権の正式発足直後の5月下旬に行われた韓米首脳会談では、米韓合同軍事演習の拡大、韓国での米軍配備の増強、経済安保を含む韓米同盟の包括的戦略的同盟化などが打ち出された。

同時に韓米首脳共同声明、それに続く日米首脳共同声明では、「日米韓の安保協力の重要性」が新たに謳われた。6月のシンガポールでのアジア安全保障会議の際の日米韓の防衛大臣会合は、朝鮮民主主義人民共和国による「大量破壊兵器及び弾道ミサイル開発」を「国際的な平和と安定に対する重大な脅威」とし、三国合同軍事演習の再開などを具体的に打ち出した。

こうして日米韓の政府は、朝鮮半島をめぐる緊張の高まりを一方的に共和国の側のせいにしつつ、三か国間の軍事的連携と軍事態勢の強化に向かおうとしている。

日米韓合同軍事演習に反対しよう

報道によれば、日米韓の三国は、8月1日から14日にかけてハワイ沖で、「パシフィッ

ク・ドラゴン」という名称の、対共和国を念頭においた「弾道ミサイル探知・追尾訓練」を実施する予定だ。多国間合同軍事演習「リムパック」とあわせて実施予定のこの「ミサイル防衛」(MD) 演習には、このかん日本との軍事協力を加速させているオーストラリアも参加する。今回のハワイ沖での合同訓練は、日米韓の合同軍事演習のさらなる拡大を導くだろう。

米国は東アジアにおける「ミサイル防衛」(MD) 体制に韓国のシステムを統合することを望んでおり、そのために日韓の「軍事情報包括保護協定(GSOMIA)」の「正常化」を求めている。同時にそれは、韓国・ソソン里でのTHAADの「正式配備」に向けた動きを加速させるものであり、実際にこのかん地元住民の反対を無視した資材搬入の強行が続いている。これらは必然的に朝鮮半島・東アジアの軍事緊張を拡大させている。同時に、このような「ミサイル防衛」(MD) 体制の強化、日米韓の安保協力の強化は、京丹後・宇川の米軍 X バンドレーダー基地のさらなる強化にもつながっていくものだ。

岸田政権は、徴用工問題に対する態度が示すように、日本のアジア侵略戦争・植民地支配の謝罪と賠償を求めるアジア民衆の声は無視する一方で、自衛隊による敵基地攻撃能力の保有や憲法9条改悪など軍事費倍増をとまなう戦争政策を推進し、さらには日米韓の三国軍事協力の強化に向かおうとしている。これに反対し、朝鮮半島と東アジアの平和のために行動しよう。

日米韓合同軍事演習反対！ 7・28デモ

7月28日(木) 午後6時30分

京都市役所前 集合

街頭アピールの後、7時すぎにデモ出発

呼びかけ：

米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会

「街なかビラ」の報告と 今後のお知らせ

(文責 白井)

6月の報告



第136回 6月10日(金) 烏丸北大路 4人

気温が30℃。暑い日でした。この日は参加者が少なかったが、ビラの受け取りはまあまあ。

<街の反応>

●(チラシを見て)エッ?こんな所に?●大学生にもチョイチョイ受け取って貰えた。(何故か一人で歩く若者の方が受け取って貰いやすい)。

第137回 6月28日(火) 河原町今出川周辺 8人

熱中症警戒アラート発令の猛暑日。少し早めに行動を切り上げて、ミーティングを。車椅子利用の会員が介助者とで参加されて力を貰った。

<街の反応>

●米軍基地は必要だ。攻められたらどうするんやと怒鳴って通り過ぎる男性が2人。●基地があることを知らない人がまだまだ多い。●暑いから気を付けて、ご苦労さま!と声を掛けて受け取る人が多かった。

今後(7月)の予定

第138回 7月19日(火) 四条大宮周辺

集合場所: 四条大宮交差点の南東広場

第139回 7月27日(水) 今熊野商店街 周辺

集合場所: 「泉涌寺道」交差点の東北角
行き方: 京阪電車・JR どちらも「東福寺」下車。
東大路通に出て、日赤病院の少し北になります。

時間はいずれも 11:00~12:00 です

暑さ厳しいですし、コロナ感染拡大も取り沙汰されています。無理のない参加をお待ちしています。

連絡先: 090-5672-1597 (白井)

老朽原発・美浜3号機の 8月上旬再稼働を止めよう!

老朽原発は廃炉に / 過酷事故が 起こる前に

文責 中沢



10月20日に予定していた美浜3号機の運転再開(並列)を「8月12日に前倒しする」と関電が発表しました。いわゆる「再稼働(原子炉起動)」は、8月上旬と推測されます。

運転開始後45年超えの老朽原発・美浜3号機は、昨年6月23日に再稼働したものの、特重施設の設置が期限に間に合わず、わずか3カ月間の営業運転で停止を余儀なくされていた。

同機は、この短い運転中に二度もトラブルを発生させています。

ひとつは、蒸気発生器中の2次冷却水が喪失したとき、緊急給水するポンプに大きな圧力がかかるトラブルです。関電は、「ポンプ入り口にある金属製のフィルターに鉄さびが詰まったことが原因」としています。

老朽原発を全国に先駆けて動かそうとして準備してきたにもかかわらず、鉄さびによる目詰まりにも気づかなかった関電と原子力規制委のいい加減さは許されるものではありません。

このようにトラブル多発の蒸気発生器ですが、美浜3号機の蒸気発生器は、取り替え後25年を経た老朽機器で、配管の完全破断を起しかねません。再稼働阻止の行動に起ちましょう!

7・24(日)老朽原発・美浜3号うごかすな!

現地全国集会

◆ とき: 正午

◆ ところ: 福井県美浜町菅浜/弁天崎

※美浜原発から直線距離で3km 南。車乗りつけ可

◆ 主催: 老朽原発うごかすな! 実行委員会

◆ 協賛: 原子力発電に反対する福井県民会議
オール福井反原発連絡会

★ 集会後、車で美浜町役場付近に移動し、
町内デモ・関電原子力事業本部への抗議行動

参議院選挙と安倍元首相の死 安倍の死を美化し政治利用する 自民党を許さない…… 大湾 宗則

参議院選挙の終盤 7/8、奈良の近鉄大和西大寺駅前で自民党候補応援に来県した安倍晋三元首相が彼に恨みを持った青年に銃殺された。

翌日9日、殺害現場に設置された献花台には花が積み上げられた。「日本のために尽くしてくれた人」と持ち上げて献花した人々の声をマスコミが繰り返し放映した。また、自民党だけではなく野党各党首もこぞって哀悼の意を捧げつつ、「暴力による民主主義への挑戦、断じて許せない」と声を上げた。

安倍氏の死は、保守の結束を固めさせたが自民党の大勝はすでに予想された結果だった。

私たちは、自民党に単独過半数を許し、自民・公明政権に維新、国民民主党などを加えた改憲勢力に 2/3 を確保され、敗北した。

沖縄・伊波洋一は「孤塁」を守った!

唯一、沖縄では伊波洋一さんが勝利した。ぶれずに政府の国策に対峙する信条、調査活動と学習に裏打ちされた理論と行動は、人々の心をとらえ、「伊波を落とすな!」の声が先島から全島に響き、県民が奮い立った結果だった。この結果は即知事選につながる。

知事と「オール沖縄」が、米軍基地による「被害」の原因が地位協定ではなく日米安保条約であることを思い返し、反対し、辺野古新基地建設を阻止し、南西諸島へのミサイル防衛隊の配備を改めて糾弾し、沖縄から全ての日米軍事基地を一掃する決意と行動を示さなければ県民は本気を取り戻せない。

安倍元総理の死を安全保障と改憲に

政治利用する自民党を徹底批判しよう!

安倍氏の葬儀には米国のプリンゲン国務長官、元国務長官のキッシンジャー、国連事務総長、弔文で中国習近平、ロシアのプーチンも哀悼の意に加わった。そして極めつけは安倍晋三元首相に従一位と最高勲章・大勲位菊花章頸飾を送ると政府は決定した。それだけではない。

安倍の葬儀に天皇皇后が献花と焼香を代理人を使わして参加した。

正に「愛国人士」の国葬を演出し、死したる安倍を祭り上げ、安保強化と改憲を進める側の人々は、7/8 を「殉難の日」とし、殺害現場に「殉難の碑」を建てかねない勢いで国民運動を準備している。安倍を美化し、「愛国人士」と

して称揚することに反対しなければならない。

岸田首相は「安倍元総理の意志を引き継ぎ憲法改正と拉致問題の解決を具体化したい」と。

衆参両院で 2/3 を確保した自公政権は、日米韓や NATO 等との「国際連帯」を強め、安保条約の適用拡大と改憲に向けて体制を集中せんとしている。とりわけ岸田内閣は、「賃上げ」を国策に加え、『連合』を労政資協調に取り込み、安全保障の基盤を万全なものにしつつある。

彼らの体制づくりに比してこちらの体制整備が遅れていることこそ「危機」であり、反省と変革を急がなければならない。

暴力(銃)による民主主義の危機?

私は安倍に哀悼は捧げない!

自民党政府による悪政が続き、対抗する野党に力なく、民衆も未だ結束して対抗する力を持たない時、間違った解決策として個人または宗派的な小集団による「テロ」が起こりえる。

このテロは政府による社会・政治運動への弾圧など治安強化の口実を与え、「国家による暴力」を正当化させ、民衆運動の足かせになるという点で私達は強く批判しなければならない。

自民党政府が暴力を批判する資格はない。自民党安倍内閣に限ってみてもアベノミクスの実体化の下でいかに多くの人々を過酷な状態に陥れ、自死を強制してきたか。新自由主義の下、人々に自己責任を押し付けた働き方改革・生産性革命は、非正規雇用労働者を大量「生産」し、資本の搾取強化と支配を進め、貧富の格差が激しい時代を生み出した。

安倍は教育基本法の改悪だけでなく、集団的自衛権の行使容認と安保法制を成立させ、自衛隊の海外派兵に道筋をつけた。安倍が掲げた「民主主義・人権、法の支配」は羊頭狗肉であり、詐欺的ではない。

辺野古埋め立て反対の声を上げ続けている沖縄の民意を法を無視した弾圧が「復帰後」も 50 年続き、多くの人々が無念を抱えて逝去した。

森友学園問題で赤木さんは国家の指示で虚偽の書き換えを強制させられ抗議の憤死をした。

また、日米安保の下、国の予算をつぎ込んで米国のイラクやアフガン、更に今日ウクライナ戦争に付き合い、他国の人々を殺傷していることも批判しなければならない。

安倍内閣の悪政と国策こそ法治主義の名の下に行われた「国家の暴力」以外の何物でもなく、安倍政治の下で亡くなった多くの人々のためにこそ哀悼の意を捧げるべきだ。